

DCX CONNECTOR

TREC専用 DCX-F2

この度は弊社製品<DCXコネクタ>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はTRECをワンタッチ装着する為の専用カプラーです。本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

お願い! 本製品は性能向上他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなって下さい。

警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。

注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

注意! アクセルセンサーはエンジンルーム内にあります。**【取り付け方法】****<取り付け作業の前に>**

- 取り付け作業には配線の接続の為にビニールテープ等が必要です。
- ハーネス類は運転の障害にならぬようにまとめて本体を固定して下さい。

注意! ● 取り付け作業は**キースイッチを抜いてから30分間はおこなわないで下さい。**(完全に電源がOFFになるまで)

→キースイッチを抜いても数分間電源がOFFにならない車両がある為

→電源がOFFにならない状態で作業をおこなった場合は車両ECUが『エラー認識』してしまうことがあります。

- 取り付け作業は**バッテリーをはずさず**におこなって下さい**→バッテリーをはずした場合は(アイドリング学習)が必要な場合があります。**
- 電子スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には慎重に作業をおこなって下さい。
- 接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、エンジンチェック点灯等の状況が出てしまいます。この場合専用の機器しかエンジンチェックの点灯は消せないことがあります。十分注意して作業をおこなって下さい。

<アクセルセンサーへの取り付け方法>

- ①エンジンルーム内のアクセルセンサーを確認して下さい。
 - アクセルワイヤーの先に付いているセンサーです。

オデッセイ(RB1/2)の場合

運転席側(マスターバック付近)にアクセルセンサーがあるのを確認して下さい(図1参照)

エリシオンの場合

助手席側、エアークリーナーBOX奥にあるアクセルセンサーを確認して下さい

- 1)作業がしやすいようにエアークリーナーBOXとエンジンにつながるインテークパイプを外します。
- 2)インテークパイプを外すと、その奥にアクセルセンサーを覆っているBOXがあります。BOXのふたは2本のナットで止まっているので外します(図2参照)
- 3)ふたを外すとアクセルワイヤーとアクセルワイヤーリンクージ、リンクージにくっついている**アクセルセンサー**が現れます(図3参照)
- 4)アクセルセンサーのカプラーを外してDCX-F2を割り込ませます。(図4参照)

図1

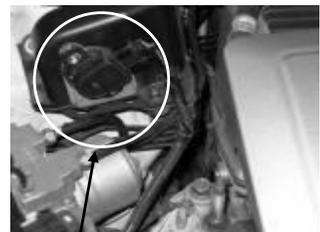


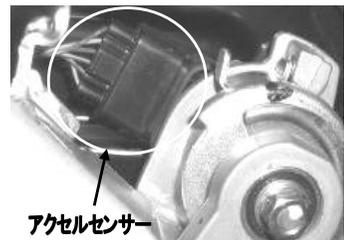
図2



図3



図4



- ②抜いたコネクタにDCXコネクタを確実に差し込んで下さい。

- ③外した部品を元に戻して下さい